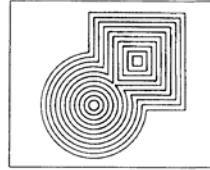


モノグラフ・高校生'94

vol. 42 国際化社会の高校生



静岡大学教授 深谷昌志

●目次

要約	2
第1章 国際化とは	4
1. 国際化の流れ	4
2. 生徒の属性	5
第2章 海外情報への関心	8
1. 世界への理解	8
2. 海外情報の摂取	12
第3章 国際体験への見通し	16
1. 外国との接点	16
2. 海外生活への見通し	22
第4章 国際的な見方の広がり	29
1. 日米のイメージ	29
2. 自己評価との関連	37
第5章 まとめに代えて	42
資料 調査票見本および集計結果	43



国際化社会の高校生

要 約

① 海外体験

高校生の50.5%、つまり、ほぼ半数は海外へ出た体験を持っている（p. 5 表2）。ただし、本サンプルの中に外国語コースに在籍している生徒が14.4%を占めるので、高校生の平均値より高いと思われる（p. 6 表3）。

② 世の中の出来事

高校生は国際問題についての関心が高いといえない（p. 10 表8）。

③ 外国人との接点

外国人とはあいさつか握手をするくらい生徒が圧倒的に多く、海外へ行ったことがある生徒を除くと、高校生と外国人との接点は少ない（p. 12 表10、11）。

④ 海外へのあこがれ

「外国人と不自由なく話したい」という気持ちを8割の生徒は持っている。しかし、「がんばったらそうなれる」と思っている生徒は3割にすぎない（p. 19 図1）。

⑤ 海外へのあこがれ×属性

海外体験の多い生徒が海外での生活に自信を持っているのは当然だが、外国語コースの生徒も外国での生活に明るい見通しを抱いている（p. 21 図3）。

⑥ 外国へいつ行くのか

大学時代か新婚旅行などで海外に行きたいし（p. 23 表17）、なんとか行けるだろうと思っている（p. 24 表18）生徒が多い。

⑦ 新婚旅行に海外へ×属性

海外体験だけでなく、外国語コース在籍者や英語の得意な生徒は、新婚旅行に海外に行きたいし、行けると思っている者が多い（p. 27 図5）。

⑧ 日米のイメージ

アメリカは資源に恵まれ、日本は治安がよいというイメージ（p. 32 図7）。

⑨ 自己評価×海外体験

1. 海外体験が多い、2. 外国語コース在籍、3. 英語が得意の生徒の自己評価は明るい（p. 38 表27）。

【調査概要】

時期●1994年1月～2月

方法●学校通しによる質問紙調査

対象●東京・千葉・埼玉・神奈川・北海道・福岡の外国語コースのある高校（4校）を含む8校の高校2年生
男子1,300名、女子1,126名、計2,426名

〔まとめ〕

高校生は外国語を自由に話したいと願っている。しかし海外へは、新婚旅行で行けるか、あるいは大学時代に観光に行くくらいで、あまり行けそうもないと思っている。

そうした中で、海外体験の多い生徒が海外に関心を持ち、国際的に生きていこうとしているのは当然のこととしても、外国語コースに在籍している生徒も、海外に強い関心を抱いている。また、英語の得意な生徒も国際化に関心を寄せている。そうした意味では、外国語コースは高校生により意味での国際化意識を育てているように見える。

第 1 章

国際化とは

1. 国際化の流れ

「国際化」という言葉が教育界で使われるようになってから10年以上過ぎた。海外に進出する企業が増加して帰国子女の問題が普遍化すると同時に、国内でもさまざまな形で就労する外国人の姿が見られるようになった。さらに円高を背景として、海外旅行が贅沢でなくなり、庶民でも海外に出かける時代になった。さらにいうなら、タバコやビールをはじめとして、日常使う外国製品がスーパーやコンビニで手に入るようになり、食料品などでは国産の方が貴重品になりつつある。

したがって、かつての時代に比べ「海外」にそれほどの重みを感じないようになった。それならば、日本が国際化したかとなると疑問が生じてくる。

友人のアメリカ人にいわせると、日本を旅するのはむずかしい。駅に行っても英語の案内がついていないし、タクシーに乗っても英語が通じない。食堂のメニューにも英語がない。高いホテルに泊まれば快適だが、そうでないと不安でしかたがないという。

さすがに、この頃は外国人をじろじろと見ることはなくなったが、それでも帰国をした子の言葉遣いの変だといじめにあう、あるいは髪の毛が縮れているや髪の毛が赤いと仲間外れにされるなどと聞くと、日本は多様さを認めることの苦手な国民だと思う。

このように考えてくると、客観的には国際化が進んでいるように思われるが、人々の国際化意識は古いままのように考えられる。

2. 生徒の属性

高校生はどれくらい外国に行ったことがあるのだろうか。表1に示したように、「家族の誰かが海外に観光に行った」ことのある者は61.1%となる。そして、本人が「海外のキャンプやホームステイへ行った」者は30.8%

に達する。その他、「家族で海外旅行」の19.1%、「家族で長期海外勤務」の7.3%のように、生徒たちは海外に出かけている。

そこで、それらを合算して海外体験の有無を確かめると表2のようになる。どういう形

表1 家族の海外体験

— 家族の6割は海外へ —

	1度もない	ある	回数			
			1回	2～3回	5～6回	何回も
家族が海外観光	38.9	61.1	19.6	22.5	6.6	12.4
父が仕事で	59.9	40.1	10.2	11.9	4.1	13.9
本人がキャンプやホームステイ	69.2	30.8	23.0	6.0	0.4	1.4
家族で海外旅行	80.9	19.1	7.9	5.8	1.9	3.5
家族で長期海外勤務	92.7	7.3	3.9	1.3	0.1	2.0

表2 生徒たちの海外体験

	(%)
ない	49.5
1回	32.7
2回	9.6
3回以上	8.2

かはともあれ、海外体験を持つ者と持たない者との割合はほぼ半々という感じである。今回の調査では、高校生の国際的な感覚を知りたかったので「外国語コース」に在籍する生徒に協力を求めた。2,426サンプルの14.4%にあたる349名が外国語コースの生徒である。

表3によれば、外国語コースに在籍している生徒は、さすがに外国体験者が多い。なお、高校生の行き先別では、アメリカが34.0%と多く、次いで中国や台湾が11.1%である(p.51参照)。

このようにとらえてみると、現代の高校生はかなり海外体験を積んでいるのがわかる。ちなみに、生徒たちの将来の進路は表4の通

りで、「難関の大学」の28.1%を含めて、4年制大学進学を望む者は83.0%に達する。そして、「3回以上」海外体験を持っている者は「難関の大学」を進学しようと思う割合が高い。

なお、国際化に関係があると思われる英語の成績を表5に示した。英語は苦手と答えている生徒が予想されるより多い印象だが、それでも、海外体験の多い生徒は英語に自信を持っている割合が高い。海外の体験を持っていると、英語の必要性を感じるので、英語を話せるようになりたいと思う気持ちが強いのであろう。

表3 家族の海外体験 × 属性

— 外国語コースは海外体験者 —

(%)

	英語の成績			クラスのタイプ		海外体験			
	とても～ やや得意	やや 苦手	かなり～ とても苦手	普通科	外国語	ない	1回	2回	3回 以上
家族が海外観光	66.0	60.4	56.1	59.2	67.0	49.0	66.3	80.7	88.5
父が仕事で	44.7	37.1	35.1	38.1	43.5	30.2	42.4	56.7	67.2
本人がキャンプやホームステイ	35.6	29.9	24.5	27.1	42.9	2.5	56.7	64.7	67.0
家族で海外旅行	25.0	16.0	13.7	18.9	21.0	1.1	19.5	54.3	83.0
家族で長期海外勤務	8.7	5.2	4.2	6.7	9.4	1.9	5.4	12.4	40.8

「1度以上」ある割合
○は最大値(以下同)

表4 将来の進路 × 属性

— 英語が得意だと進学 —

(%)

		高校	短大	専門	まあまあの 大学	難関の 大学
全 体		3.4	8.4	5.2	54.9	28.1
英語の成績	とても～ やや得意	1.4	8.7	2.7	53.3	33.9
	やや苦手	2.6	9.7	3.2	58.9	25.6
	かなり～ とても苦手	4.8	10.9	9.3	60.6	14.4
クラスのタイプ	普通科	3.3	7.3	4.9	56.6	27.9
	外国語	3.1	13.9	6.8	49.6	26.6
海外体験	な い	4.0	11.1	7.7	57.4	19.8
	1 回	2.6	5.7	2.7	54.1	34.9
	2 回	2.6	4.8	4.3	53.7	34.6
	3回以上	4.2	7.4	1.6	44.7	42.1

表5 英語の成績 × 属性

— 苦手な子が多い —

(%)

		得 意			苦 手			とても～ かなり 得意の割合
		とても	かなり	やや	やや	かなり	とても	
全 体		4.5	6.4	26.4	28.7	15.9	18.1	10.9
性	男 子	5.9	5.5	22.6	26.6	16.0	23.4	11.4
	女 子	2.8	7.4	30.9	31.2	15.9	11.8	10.2
クラスの タイプ	普通科	4.5	6.1	25.3	29.5	15.6	19.0	10.6
	外国語	4.2	9.9	31.6	26.7	15.6	12.0	14.1
海外体験	な い	2.6	4.9	22.9	30.7	18.9	20.0	7.5
	1 回	5.0	6.4	27.3	27.4	14.5	19.4	11.4
	2 回	6.5	9.1	32.7	26.3	13.8	11.6	15.6
	3回以上	11.5	12.0	36.5	24.5	6.5	9.0	23.5

第 2 章

海外情報への関心

1. 世界への理解

テレビを見ていると海外のニュースがリアルタイムで飛び込んでくる。実際に中近東の紛争が日ならずして日本のガソリンの値段に関係してくるし、南アメリカの干ばつがコーヒーの値段を上げるのが現代である。それだけに、日常生活を送るためにも国際感覚を持

つことが必要になってくるのを感じる。

それでは、高校生は国際的な感覚をどれくらい身につけているのだろうか。高校生にいくつかの都市の名前をあげて首都を選択してもらおうと、表 6 のような結果が得られる。ニュージーランドはおとなでもむずかしいと

表 6 首都を知っている × 属性

— 知っている者が多い —

(%)

	全 体	性		英語の成績			クラスのタイプ	
		男子	女子	とても～ やや得意	やや苦手	かなり～ とても苦手	普通科	外国語
アメリカ	92.1	92.5	91.6	95.0	92.2	93.7	91.1	96.2
中 国	95.1	95.0	95.3	96.5	95.5	95.3	94.6	97.4
フランス	89.5	89.2	89.9	92.1	91.9	89.2	88.3	95.4
韓 国	96.8	96.0	97.8	97.3	97.5	97.1	96.2	99.1
ニュージーランド	34.9	36.8	32.5	36.8	33.0	34.1	34.8	37.3

ころだが、その他の首都の正解率は9割前後の高さを示している。

また表7に、それぞれの都市への所要時間についての推定値を掲げた。ソウルへ行くのに「4時間以上かかる」が23.5%、ニューヨークへ「5時間以内で行ける」が8.6%の

ように、所要時間の推定はあまり正確ではない。もっとも、平均値をとれば、おおよそ正確な数値になる。われわれが高校生の頃、外国へ行くなどというのは高嶺の花であった。それと比較すると、現代の高校生は自分が行くつもりで、それぞれの町の名を考えている

表7 所要時間

— ほぼ正確な感じ —

							(%)
ロンドン	1～5時間	6～10時間	11～15時間	16時間以上		平均値	
	7.1	39.3	39.5	14.1		11時間23分	
ソウル	1時間	2時間	3時間	4時間以上		2時間25分	
	11.7	34.3	30.5	23.5			
ニューヨーク	1～5時間	6～10時間	11～15時間	16時間以上		11時間49分	
	8.6	36.4	45.7	9.3			
北京	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間以上	3時間34分
	4.1	16.2	29.2	21.4	16.8	12.3	
ニューデリー	1～5時間	6～10時間	11時間以上				7時間8分
	22.4	60.7	16.9				
ハワイ	1～3時間	4～5時間	6～7時間	8～9時間	10時間以上		6時間41分
	21.0	20.7	22.5	28.8	7.0		

ように思われる。

それでは、もう少し踏み込んで国際的な出来事についての高校生の関心はどうであろうか。表8に「従軍慰安婦問題」から「コメの自由化」まで、主として1992～93年に生じた国際関連のニュースについての関心を掲げた。

1993年は米の不作で、外国米の緊急輸入が問題になった。そうした中で、タイ米や中国米、カリフォルニア米など、米についての関心が高まった。また、この年、留学中の高校生が間違っって射殺されたり、大学生がスーパーで強盗に襲われて殺されたりする事件が発生し

表8 世の中の出来事

——あまり関心はない——

(%)

	関心がある			関心がない	
	とても	かなり	やや	あまり	まったく
従軍慰安婦問題	7.7	8.9	26.3	34.1	23.0
ECの統合	7.9	8.3	23.1	41.1	19.6
ロシアの政治不安	9.7	12.6	29.4	31.5	16.8
カンボジアにPKO	10.4	16.1	36.7	24.7	12.1
湾岸戦争	14.0	18.2	40.1	19.1	8.6
アメリカの銃規制	25.3	23.1	28.3	13.9	9.4
コメの自由化	26.8	24.4	29.8	11.6	7.4

て、アメリカの銃規制の行方に社会の関心が集まった。

しかし表8によると、そうした社会問題に対する高校生の反応はそれほどシャープなものではなかった。「アメリカの銃規制」についての関心も「かなり」の23.1%を含めて48.4

%にとどまる。さらに、「従軍慰安婦問題」や「E Cの統合」への関心は2割を下回った。

そして、表9から明らかなように、英語が得意な生徒はそうでない生徒より、世の中のことに関心を持っている割合が高い。

表9 世の中の出来事 × 属性
——英語が得意だと関心を持つ——

(%)

	英語の成績			クラスのタイプ	
	とても～ やや得意	やや苦手	かなり～ とても苦手	普通科	外国語
従軍慰安婦問題	17.9	13.4	15.0	15.7	22.0
E Cの統合	14.9	12.7	15.0	17.0	14.7
ロシアの政治不安	20.1	21.5	19.6	22.5	22.0
カンボジアにPKO	26.6	23.2	26.5	27.0	28.0
湾岸戦争	32.9	27.5	27.5	32.8	31.3
アメリカの銃規制	51.2	45.9	44.2	46.2	60.9
コメの自由化	54.1	49.3	47.8	51.5	52.9

「とても」+「かなり」関心がある割合
○ は第2位と2%以上差がある最大値

2. 海外情報の摂取

海外の情報に接していても、間接体験なので生きた感じで外国をつかみにくい。個人的な感想を書くなら、海外に友人ができると、その人を通して、その社会をより深く理解で

きるようになる。それだけに、高校生がどれくらい外国人と個人的なふれ合いを持ったのかを知りたくなる。

表10によると、高校生が外国人としている

表10 外国人としたこと
— 握手をするくらい —

(%)

	1度もない	1度以上した割合	1、2度ある	何回かある	数えきれないくらいある
あいさつをする	7.1	92.9	24.9	39.8	28.2
握手をする	21.4	78.6	31.7	32.7	14.2
道を案内する	49.2	50.8	33.9	13.3	3.6
食事をする	55.3	44.7	18.7	13.7	12.3
町を歩く	62.1	37.9	14.8	12.5	10.6
買い物を手伝う	77.5	22.5	10.1	7.7	4.7
旅をする	84.8	15.2	8.6	3.6	3.0

「1度以上した」割合は、「1、2度ある」「何回かある」「数えきれないくらいある」の合計

ことは「あいさつをする」(92.9%)と「握手をする」(78.6%)、「道を案内する」(50.8%)にすぎない。

もちろん、外国人と接するのは機会を持っている者にとっては当たり前のことだろうが、外国人との接点のない者には、外国人と話すのは普通ではありえないこととなる。

そこで、外国人との接点を高校生の属性別に分析すると表11の通りとなる。英語の成績

別では勉強の得意の方、そしてクラスのタイプ別では外国語コースに在籍する生徒、さらに海外体験では海外に行っている割合の多い生徒の方が外国人との接点が多い。それと同時に、外国語コースに在籍している生徒は普通科の生徒より外国人に接している機会が多い。外国に行けばむろんであろうが、国内でも外国語コースだと外国人の教師が多い。それだけでも、外国が自分の身に近いものにな

表11 外国人としたこと × 属性

(%)

	英語の成績			クラスのタイプ		海外体験			
	とても～ やや得意	やや苦手	かなり～ とても苦手	普通科	外国語	ない	1回	2回	3回 以上
あいさつをする	94.8	93.1	91.6	91.6	98.5	89.3	96.0	97.4	97.0
握手をする	82.2	78.7	75.9	76.4	90.4	70.6	84.1	90.6	91.5
道を案内する	52.4	49.6	49.3	47.8	62.1	45.3	51.0	62.1	69.5
食事をする	51.6	43.0	36.4	40.5	64.6	27.4	51.3	78.5	82.5
町を歩く	44.9	37.0	24.9	33.5	61.8	19.9	44.6	74.2	77.0
買い物を手伝う	27.1	19.4	15.3	19.0	42.9	9.6	24.8	52.6	56.2
旅をする	18.0	12.8	10.5	12.5	29.7	4.9	16.7	34.8	48.0

「1度以上した」割合

るのであろう。

それでは、生徒たちは外国との接し方をどう考えているのであろうか。表12に海外の情報入手する方法についての意見を尋ねた。「FENを聞く」や「衛星放送を聞く」「外国の雑誌を読む」など、海外の情報が簡単に手

に入るのが現代であらう。

しかし表12によると、生徒たちはあまり情報の入手に積極的でないようにみえる。もっとも海外の情報に積極的なのは、①英語が得意、②外国語コース在籍、③海外渡航の体験が多い生徒である(表13)。

表12 海外の情報への態度

—あまりしていない—

(%)

	する			しない	
	とても	かなり	やや	あまり	まったく
FENを聞く	3.3	2.5	7.4	17.8	69.0
衛星放送のニュースを聞く	3.7	3.4	10.6	13.5	68.8
海外アーティストのコンサートへ行く	5.9	2.5	8.5	21.4	61.7
雑誌の海外事情を読む	7.1	8.1	31.0	36.5	17.3
新聞の海外ニュースを読む	7.6	9.6	32.8	33.1	16.9
テレビの海外ニュースを見る	11.1	15.1	40.1	23.4	10.3
外国の映画を見に行く	24.8	24.4	28.4	13.9	8.5
外国アーティストのCDを聞く	27.7	18.0	28.6	16.9	8.8

英語が得意、そして外国語コースに在籍している、さらに海外に渡航している回数が多いなどの属性を持つ生徒が、海外に対する関心が高くなるのが当然であろう。そして、英語の成績、在籍しているクラスのタイプ、渡航体験の中では、渡航体験が外国に対する情

報接触行動に影響する割合が高い。「衛星放送のニュースを聞く」割合が、英語が得意＝7.7%（「とても」＋「かなり」の割合）、外国語コース在籍＝11.3%なのに、海外渡航3回以上＝21.5%がその一例になる。

表13 海外の情報への態度 × 属性

— 海外体験が鍵 —

(%)

	英語の成績			クラスのタイプ		海外体験			
	とても～ やや得意	やや 苦手	かなり～ とても苦手	普通科	外国語	ない	1回	2回	3回 以上
FENを聞く	7.0	2.2	2.6	7.5	13.2	2.8	6.4	10.7	16.0
衛星放送のニュースを 聞く	7.7	4.2	3.9	4.6	11.3	3.9	6.4	13.8	21.5
海外アーティストのコンサ ートへ行く	8.2	6.2	7.3	7.5	13.2	5.3	8.9	15.4	17.4
雑誌の海外事情を読む	16.8	10.4	12.6	14.2	21.0	10.8	16.0	23.9	29.3
新聞の海外ニュースを 読む	17.3	13.7	14.5	16.7	22.5	13.3	18.1	25.7	27.3
テレビの海外ニュース を見る	27.9	20.7	22.3	24.6	35.0	22.2	26.3	37.1	36.3
外国の映画を見に行く	52.6	50.4	43.2	48.6	58.5	46.3	48.6	56.0	60.2
外国アーティストのCD を聞く	51.0	45.7	36.5	43.5	55.5	42.0	44.5	57.7	59.5

「とても」＋「かなり」する割合

第3章

国際体験への見通し

1. 外国との接点

それでは、高校生は外国との接点をどの程度持ちたいと思っているのであろうか。表14に示したように、「外国人と議論をする」をはじめ「外国の新聞を読む」「外国人を道案内する」などについても、「ぜひそうになりたい」と考える生徒が半数を超える。

現在の高校生は国際的な関心を持っているであろうから、外国へ行って活躍したいと思っているのは当然かもしれない。できることなら、海外で活躍したい。しかし、活躍したいと思うのはよいが、活躍できるかどうかの問題になる。

表14 できるようになりたいか
— 高い希望 —

(%)

	なりたい		なりたくない	
	ぜひ	かなり	あまり	まったく
外国人と議論をする	54.9	21.9	16.7	6.5
外国の新聞を読む	61.6	23.7	10.8	3.9
外国のジーンズ店で買い物をする	62.8	23.1	10.0	4.1
外国の本を読む	66.7	21.9	7.9	3.5
外国のスーパーで買い物をする	67.2	20.9	8.4	3.5
外国人を道案内する	67.7	22.7	6.4	3.2
外国のテレビを理解する	68.4	21.9	6.5	3.2
外国のレストランで食事をする	69.9	22.1	5.2	2.8
外国人とあいさつをする	75.2	17.8	4.2	2.8
外国人と不自由なく会話をする	76.7	17.2	3.3	2.8

そこで、「外国人と議論をする」や「外国の新聞を読む」などについて実際にできそうか、将来についての見通しを尋ねてみた。「外国人とあいさつをする」はできそうだという生徒が6割を超える。そして、「外国のスーパーで買い物をする」や「外国人を道案内する」などができそうも5割に達する。また、「外国人と論議をする」でも「たぶん」を含めると42.7%の生徒が、できるようにな

ると答えている(表15)。

どこの社会でもよいが、身近に感じるアメリカでも、言葉を聞き、そして話すのはかなり大変だと思う。筆者なども海外に行く機会はかなりになっているが、それでも話し言葉に苦労している。少し英語を聞き取れ、そして話せるようになると、相手方が手加減しないで話し始める。それに慣れると、スラングが入ってくるので、より聞き取り難くなる。

表15 できるようになれるか
——あいさつ程度なら——

(%)

	できる		できない	
	きっと	たぶん	たぶん	まったく
外国人と議論をする	20.6	22.1	34.1	23.2
外国の新聞を読む	28.0	34.8	27.2	10.0
外国のジーンズ店で買い物をする	40.3	36.7	18.2	4.8
外国の本を読む	25.3	28.6	32.3	13.8
外国のスーパーで買い物をする	54.9	33.1	9.3	2.7
外国人を道案内する	50.0	34.4	12.2	3.4
外国のテレビを理解する	26.6	32.7	30.0	10.7
外国のレストランで食事をする	46.9	37.9	11.8	3.4
外国人とあいさつをする	65.4	27.7	5.1	1.8
外国人と不自由なく会話をする	29.7	33.0	28.7	8.6

そして、会話とは峠を越えると、また峰が見えてくる登山のようなもので、終わりのない苦労の道と考えるようになった。

そうした体験を持っているので生徒たちの見通しが甘いように思われるが、若いだけがんばれば何とかなると感じているのであろう。そこで、「なりたい」と「できる」とを1つにまとめてみると、図1のような結果になる。

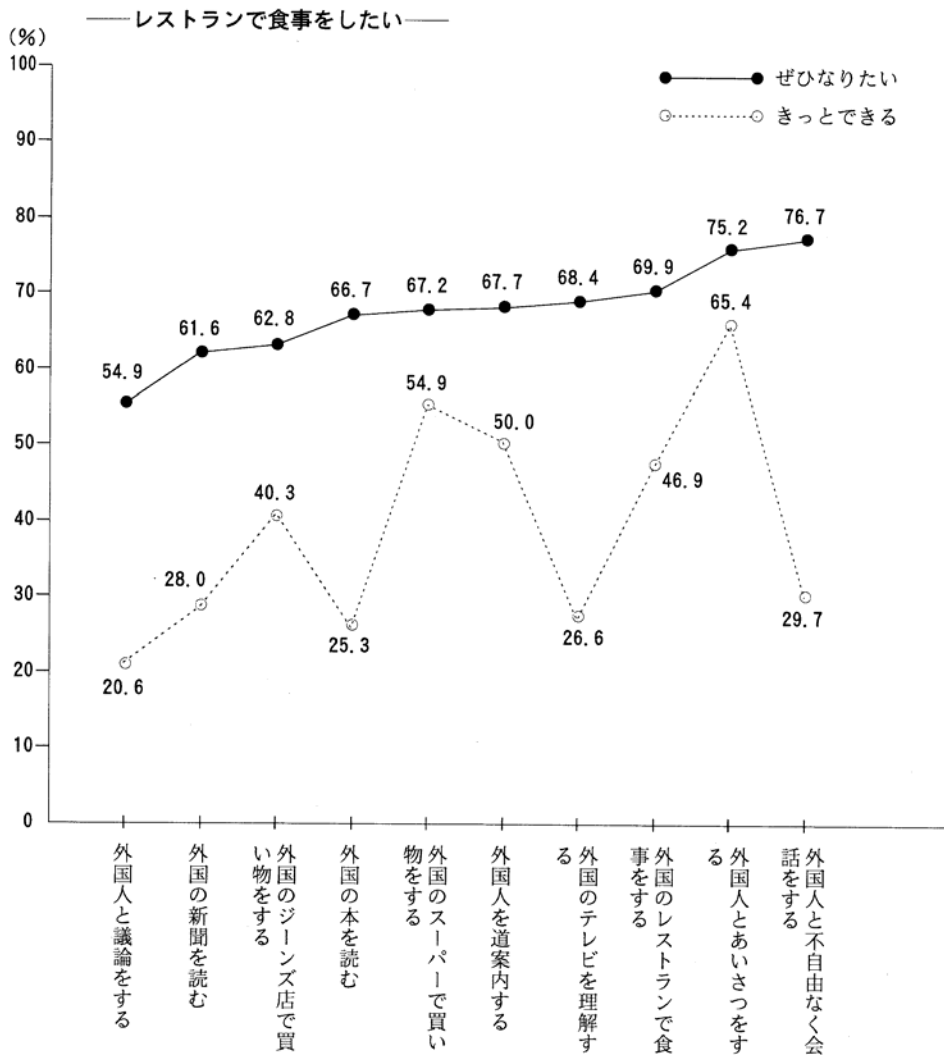
①なりたいしできると思う領域

	なりたい	→	できる
外国人とあいさつ	75.2%		65.4%
外国のレストランで食事	69.9%		46.9%

②なりたいができそうにないと思う領域

外国のテレビを理解	68.4%	→	26.6%
外国の本を読む	66.7%	→	25.3%

図1 「なりたい」と「できる」



したがって、簡単なことならできらるだろう。しかし、外国で一人前に暮らしていくことは無理かもしれないという見通しである。

なお、こうした見通しを属性別にみると図2(表16)のように、①英語が得意、②外国語コースに在籍、③海外体験が多い方が、外国でがんばりたいと考えている割合が高い。

さらに、図3によると、①英語が得意の方

が苦手の生徒より「外国人と不自由なく話せる」ようになりたいと思っているだけでなく、なれるだろうとも考えている。また、②外国語コースに在籍している生徒、③海外渡航回数が多い生徒も不自由なく話せるようになりたいし、なれるだろうという。そうした中で特に海外体験の多い生徒は他の属性よりも「なりたいたい」と同時に「なれる」と思う割合が高い。

図2 「なりたいたい」×属性

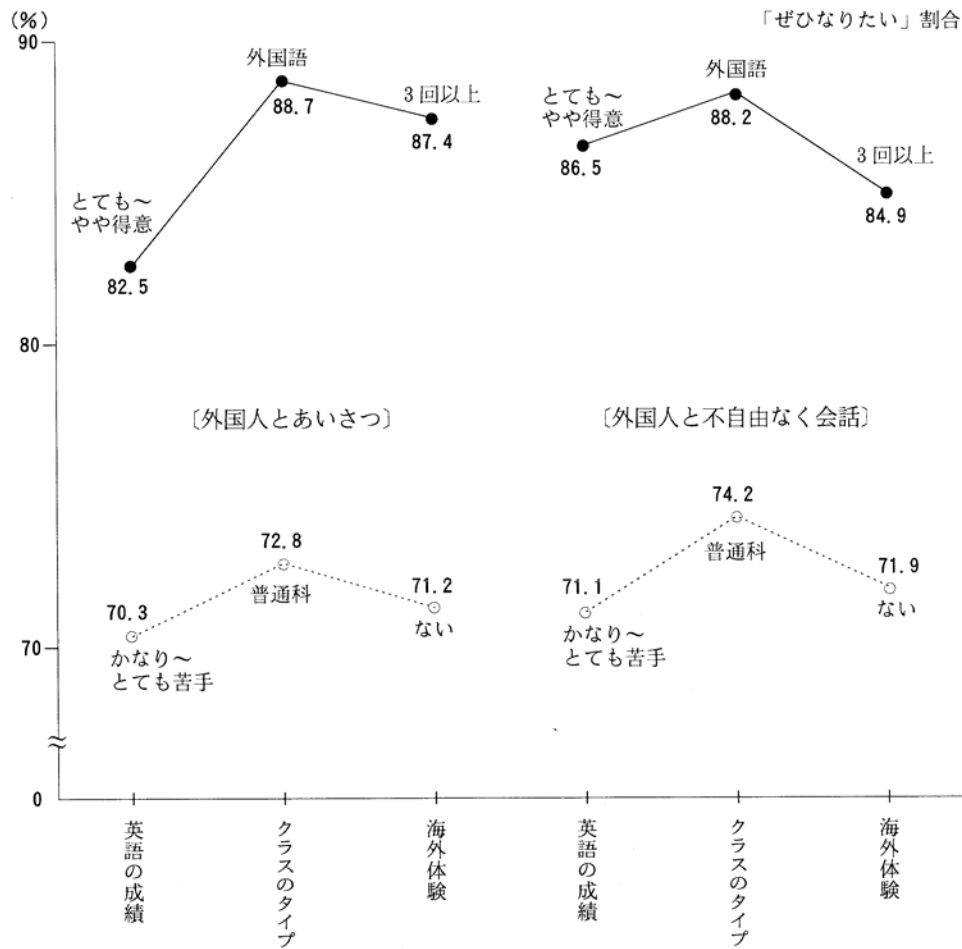


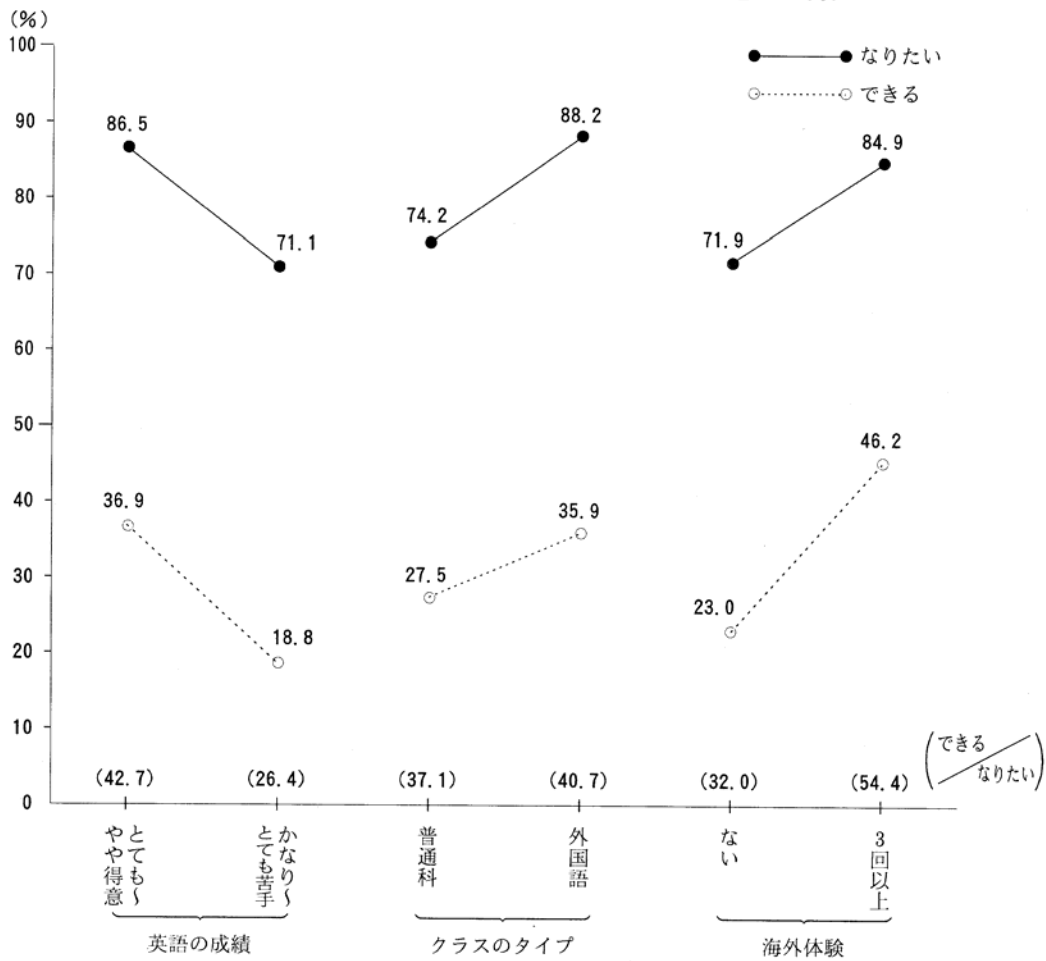
表16 「なりたい」と「できる」× 属性

		英語の成績			クラスのタイプ		海外体験			
		とても～ やや得意	やや 苦手	かなり～ とても苦手	普通科	外国語	ない	1回	2回	3回 以上
外国人と あいさつ	なりたい	82.5	74.6	70.3	72.8	88.7	71.2	77.5	77.2	87.4
	できる	75.9	62.4	53.7	62.2	79.4	58.2	70.1	77.7	75.4
外国人と 不自由なく 会話	なりたい	86.5	74.6	71.1	74.2	88.2	71.9	79.5	84.1	84.9
	できる	36.9	25.5	18.8	27.5	35.9	23.0	31.7	43.3	46.2

(%)

「なりたい」＝「ぜひなりたい」割合
「できる」＝「きっとできる」割合

図3 「外国人と不自由なく会話」の「なりたい」と「できる」× 属性



2. 海外生活への見通し

それでは、高校生は人生の中で海外との関係はどうなりそうだと思っているのであろうか。表17に示したように、高校生が人生の中で「ぜひしたい」と思っていることの上位3位までをあげると、以下のようなになる。
〔ぜひしたい〕

1位 大学時代に海外に観光旅行 61.7%

2位 新婚旅行に海外へ 56.4%

3位 独身時代に海外に観光旅行 54.2%

観光くらいはしたい。でも外国の大学に入ったり、海外の企業に勤めるのはしたいと思わない。というより、できそうもないから、したくないと思っているのであろう。

表17 外国関係でしたいこと
— 観光くらいはしたい —

(%)

	したい			したくない	
	ぜひ	かなり	やや	あまり	まったく
外国の日本校入学	8.2	4.3	14.5	31.8	41.2
外国人と結婚	11.1	5.4	16.4	30.2	36.9
外国の市民権を獲得	11.6	6.1	14.3	28.3	39.7
外国の大学院進学	11.9	4.9	15.4	34.2	33.6
外国の大学へ進学	12.3	5.5	17.3	32.1	32.8
外資系会社に就職	13.0	8.1	21.5	32.2	25.2
旅行会社に就職	13.2	8.7	23.9	26.5	27.7
高校時代に海外留学	17.5	8.0	19.3	29.4	25.8
海外支店のある会社に就職	19.8	10.8	27.1	23.4	18.9
高校時代にホームステイ	24.4	10.4	21.7	25.0	18.5
老後は外国暮らし	24.5	8.8	17.4	24.5	24.8
仕事で1年以上海外に	26.8	10.9	20.6	22.6	19.1
外国の大学に在籍	27.6	9.6	19.9	23.4	19.5
仕事で短期間海外へ	28.3	14.4	24.8	18.4	14.1
大学時代にホームステイ	30.7	12.8	21.2	19.8	15.5
外国に別荘	33.9	10.4	20.7	18.5	16.5
高校時代に短期間観光	40.2	13.4	20.5	14.4	11.5
家族で海外旅行	49.9	14.4	17.7	10.1	7.9
独身時代に海外観光	54.2	15.9	15.7	6.9	7.3
新婚旅行に海外へ	56.4	12.8	16.2	7.3	7.3
大学時代に海外観光	61.7	15.5	13.0	4.5	5.3

実際に「できそうか」を尋ねてみると、表18に示すように、①新婚旅行を海外で(41.5%＝「きっとできる」)、②独身時代に海外に

観光旅行(39.0%)、③大学時代に海外観光旅行(36.1%)である。それぞれの時期に、できることなら観光旅行をしたいというのが、

表18 外国関係でできそうか
— 観光くらいはできると思う —

(%)

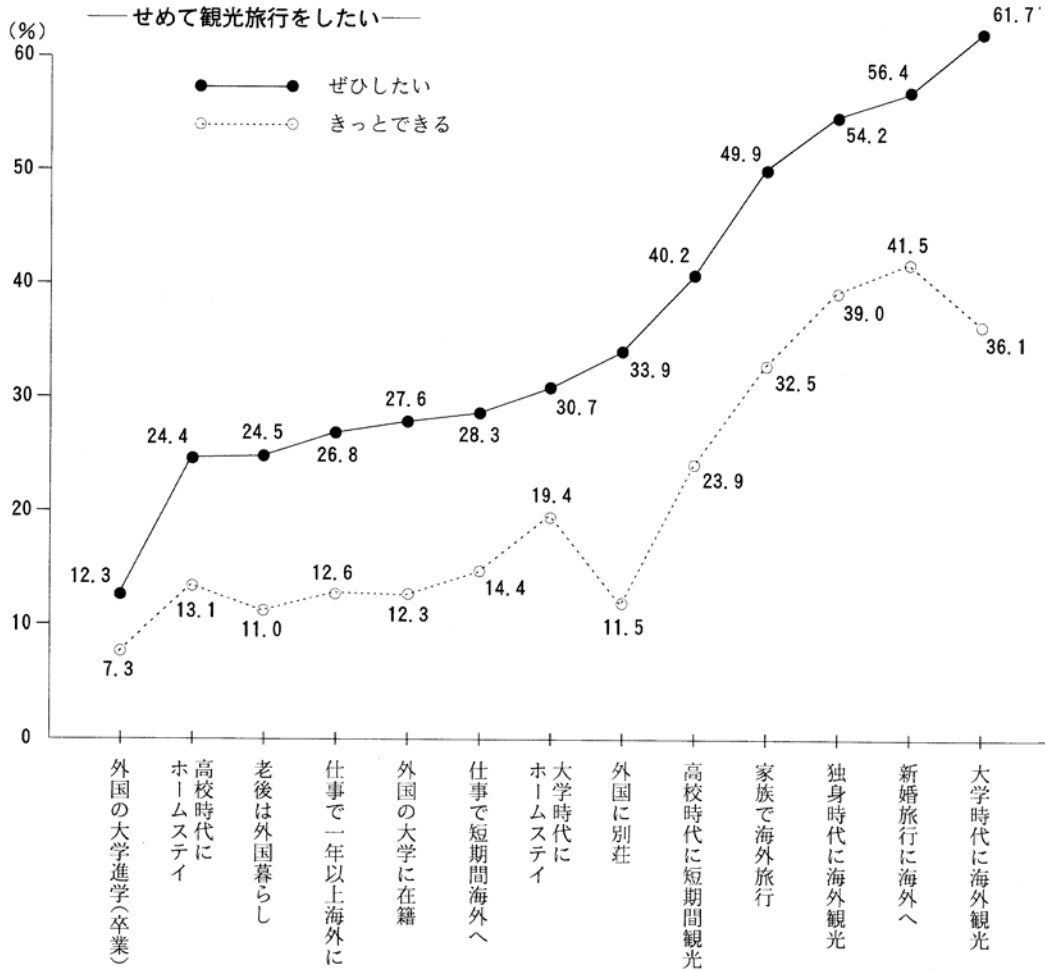
	できる			できない	
	きっと	たぶん	もしかしたら	たぶん	ぜったい
外国の大学卒業	7.3	3.3	12.3	27.8	49.3
高校時代にホームステイ	13.1	4.4	10.0	29.5	43.0
老後は外国暮らし	11.0	6.0	18.3	26.5	38.2
仕事で1年以上海外に	12.6	7.5	27.8	28.6	23.5
外国の大学に在籍	12.3	6.8	16.6	32.5	31.8
仕事で短期間海外へ	14.4	10.6	31.7	24.5	18.8
大学時代にホームステイ	19.4	11.0	22.9	27.5	19.2
外国に別荘	11.5	4.5	15.6	30.6	37.8
高校時代に短期間観光	23.9	7.7	13.3	26.2	28.9
家族で海外旅行	32.5	21.4	27.4	10.0	8.7
独身時代に海外観光	39.0	22.2	22.0	8.6	8.2
新婚旅行に海外へ	41.5	23.4	22.0	6.2	6.9
大学時代に海外観光	36.1	20.9	24.2	9.2	9.6

高校生の願いになる。

海外体験の「したい」と「できる」とを1つにまとめてみると図4になる。残念ながら

「したい」と「できる」の上位を観光旅行が占める。実際に海外で仕事をするのはむずかしいと思っているのであろう。

図4 外国関係の「したい」と「できる」



なお、海外での体験への見通しについて属性別の集計結果をまとめると表19になる。そして、図5に「新婚旅行に海外に行く」の結果を図化した。これまでと同じように、海外の渡航体験の多い高校生が新婚旅行に海外

に行きたいし、行けるだろうと思っている割合が多い。また「仕事で1年以上海外に滞在する」についても、海外体験の多い生徒がそう思っているのは図6からも明らかであろう。

表19 外国関係の「したい」と「できる」×属性

(%)

		英語の成績			クラスのタイプ		海外体験			
		とても～ やや得意	やや 苦手	かなり～ とても苦手	普通科	外国語	ない	1回	2回	3回 以上
新婚旅行に 海外へ	したい	63.0	56.1	50.9	55.7	64.0	53.3	55.4	62.2	72.5
	できる	50.2	39.3	33.9	38.5	55.3	34.1	44.9	52.6	59.3
家族で海外 旅行	したい	56.0	49.5	44.5	48.6	58.8	44.7	50.6	57.9	68.0
	できる	39.1	31.1	24.2	30.4	41.0	24.2	36.6	44.4	53.3
外国の大学 に在籍	したい	36.3	23.2	16.1	24.4	43.6	18.7	31.5	42.7	47.8
	できる	14.8	9.3	5.5	9.2	24.6	6.8	14.5	22.6	24.0
仕事で1年 以上海外に	したい	34.3	22.3	19.7	22.2	46.2	18.8	28.7	39.3	52.7
	できる	14.8	7.7	6.6	10.5	19.8	7.3	14.1	21.8	27.6

「したい」＝「ぜひしたい」割合
「できる」＝「きっとできる」割合

図5 新婚旅行に海外へ

——海外へ行っている生徒は将来も海外に——

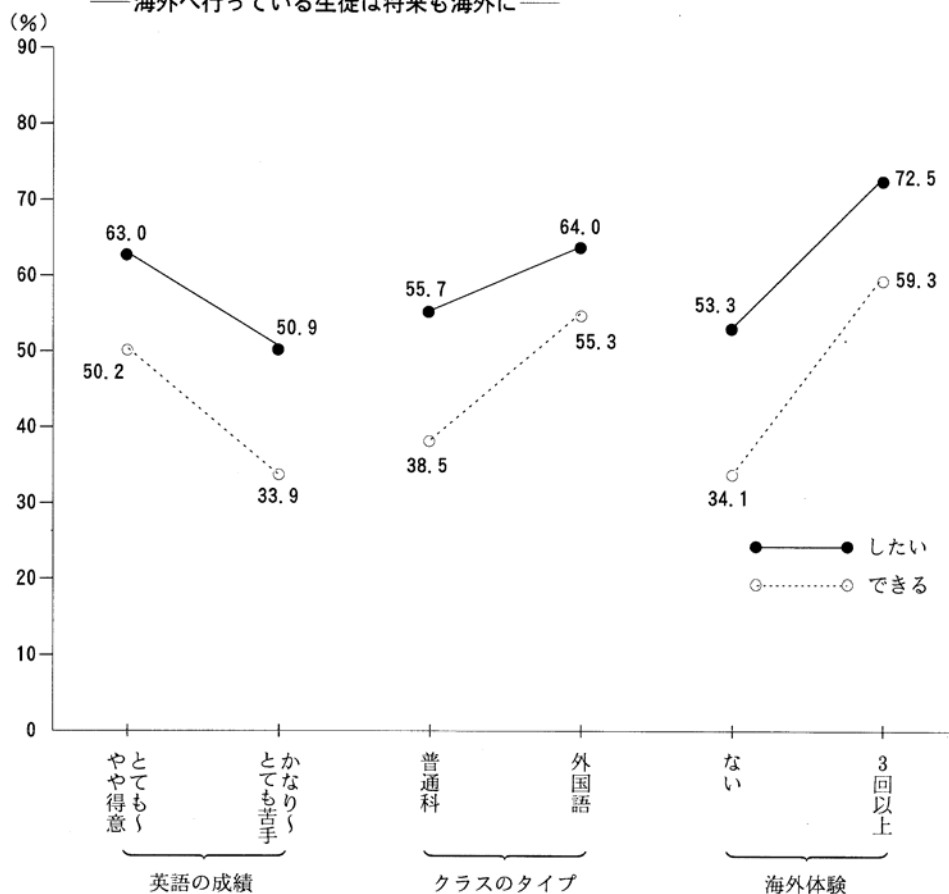
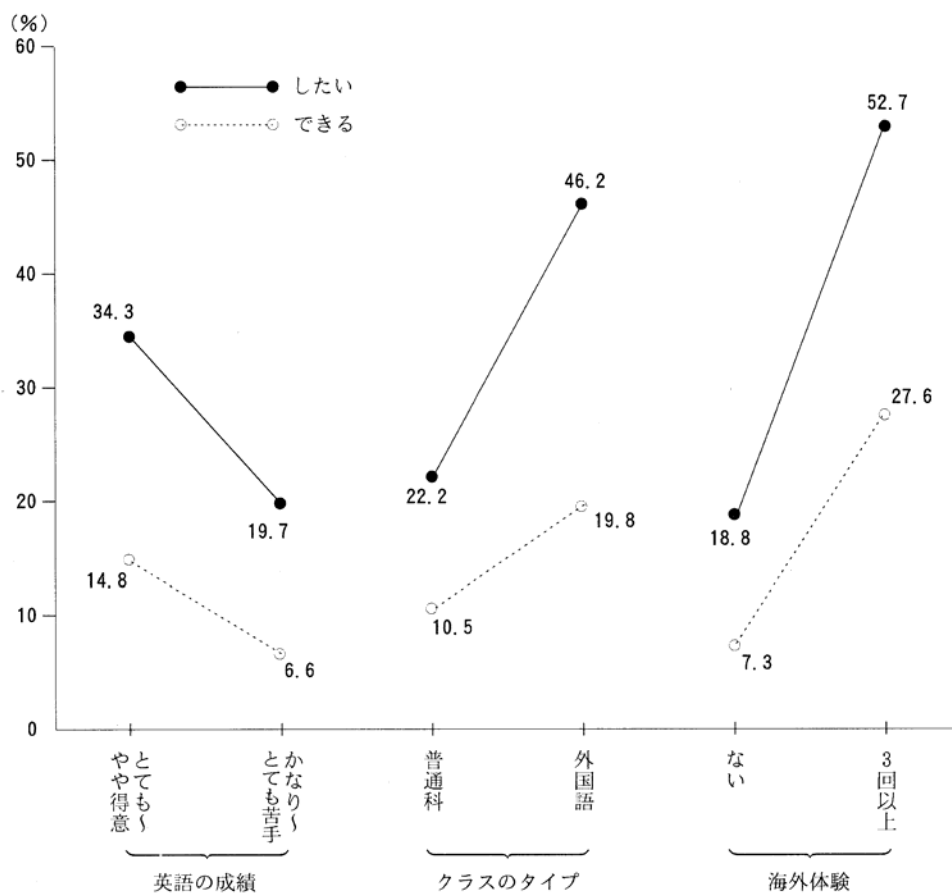


図6 仕事で1年以上海外に滞在



第4章

国際的な見方の広がり

1. 日米のイメージ

これまでふれたように、高校生たちは現代に生きる若者らしく国際的な関心を積極的に示していた。そうした中で、英語ができ、外国語コースに在籍し、海外渡航の体験が多い生徒が海外の情報を自主的に摂取しようとしていた。海外体験の多い生徒が将来、海外に

進出して活躍したいと思うのは当然かもしれない。

それでは、①英語が得意、②外国語コースに在籍、③海外渡航体験が多い方が海外に関心を持つのは確かだとして、そうした属性はその他のことにも影響を与えるのであろうか。

表20に日本に対するイメージを示した。
「とてもそう思う」の割合に着目すると、日本のイメージを象徴するものは以下のようになる。

①土地が狭い 68.7%

②治安がよい 62.9%

③自然破壊が進む 61.5%

(「とてもそう思う」割合)

日本のイメージの第4位に「生活水準が高い」(49.4%)、第5位に「食べ物がおいしい」

表20 日本のイメージ

—— 治安がよく土地が狭い ——

(%)

	そう思う		そう思わない	
	とても	かなり	あまり	まったく
親切な人が多い	7.9	24.9	51.1	16.1
家族の仲がよい	8.9	30.5	51.5	9.1
自由が尊重されている	10.0	29.3	45.5	15.2
民主化が進む	12.7	40.7	38.6	8.0
自然が美しい	13.9	29.8	44.8	11.5
資源に恵まれている	14.1	11.9	33.9	40.1
幸せな人が多い	15.5	29.3	44.2	11.0
食べ物がおいしい	45.3	39.7	12.0	3.0
生活水準が高い	49.4	35.6	12.2	2.8
自然破壊が進む	61.5	31.8	5.3	1.4
治安がよい	62.9	26.4	8.1	2.6
土地が狭い	68.7	20.3	8.6	2.4

い」(45.3%)があげられており、なんとなくその通りという気がする。

それでは、アメリカにはどのようなイメージを抱いているのか。表21に数値を掲げたが、アメリカのイメージの第3位までは以下の通

りである。

- ①自由が尊重 47.7%
- ②資源に恵まれる 44.6%
- ③自然が美しい 43.3%

(「とてもそう思う」割合)

表21 アメリカのイメージ
——資源に恵まれ自由を尊重——

	そう思う		そう思わない	
	とても	かなり	あまり	まったく
親切な人が多い	23.3	43.2	29.5	4.0
家族の仲がよい	33.8	43.3	19.3	3.6
自由が尊重されている	47.7	38.7	10.8	2.8
民主化が進む	26.6	49.6	20.9	2.9
自然が美しい	43.3	41.8	13.0	1.9
資源に恵まれている	44.6	44.0	10.2	1.2
幸せな人が多い	10.5	36.7	45.9	6.9
食べ物がおいしい	12.1	27.9	48.2	11.8
生活水準が高い	13.5	43.3	38.8	4.4
自然破壊が進む	12.6	31.6	49.2	6.6
治安がよい	2.6	5.4	38.0	54.0
土地が狭い	3.5	3.2	16.0	77.3

おとなたちにアメリカのイメージを尋ねても、これとほぼ同じ結果になったように思う。「自由な国・アメリカ」というイメージだが、日本とアメリカとを対比させると、図7のようなプロフィールとなる。

日本のイメージ＝生活水準が高く、治安もよいが、土地が狭く、自然が破壊されている
 アメリカのイメージ＝資源に恵まれ、自然が美しく、自由が尊重されている

細かく分析してみると、アメリカの方が日本より「家族の仲がよい」、あるいは、日本の方がアメリカよりはるかに「生活水準が高い」と思っているなど、気にかかる反応もみられる。しかし、図7のこうした日米評価はおおむね妥当なところであろう。

それでは、そうした日米のイメージは高校生の属性によって変わるのであろうか。図8(表22)によると、海外渡航体験の多い生徒は日本に対し肯定的な評価を与えている。

日本の中では、外国人は増えたといっても

図7 日本とアメリカのイメージ

—自由なアメリカと治安のよい日本—

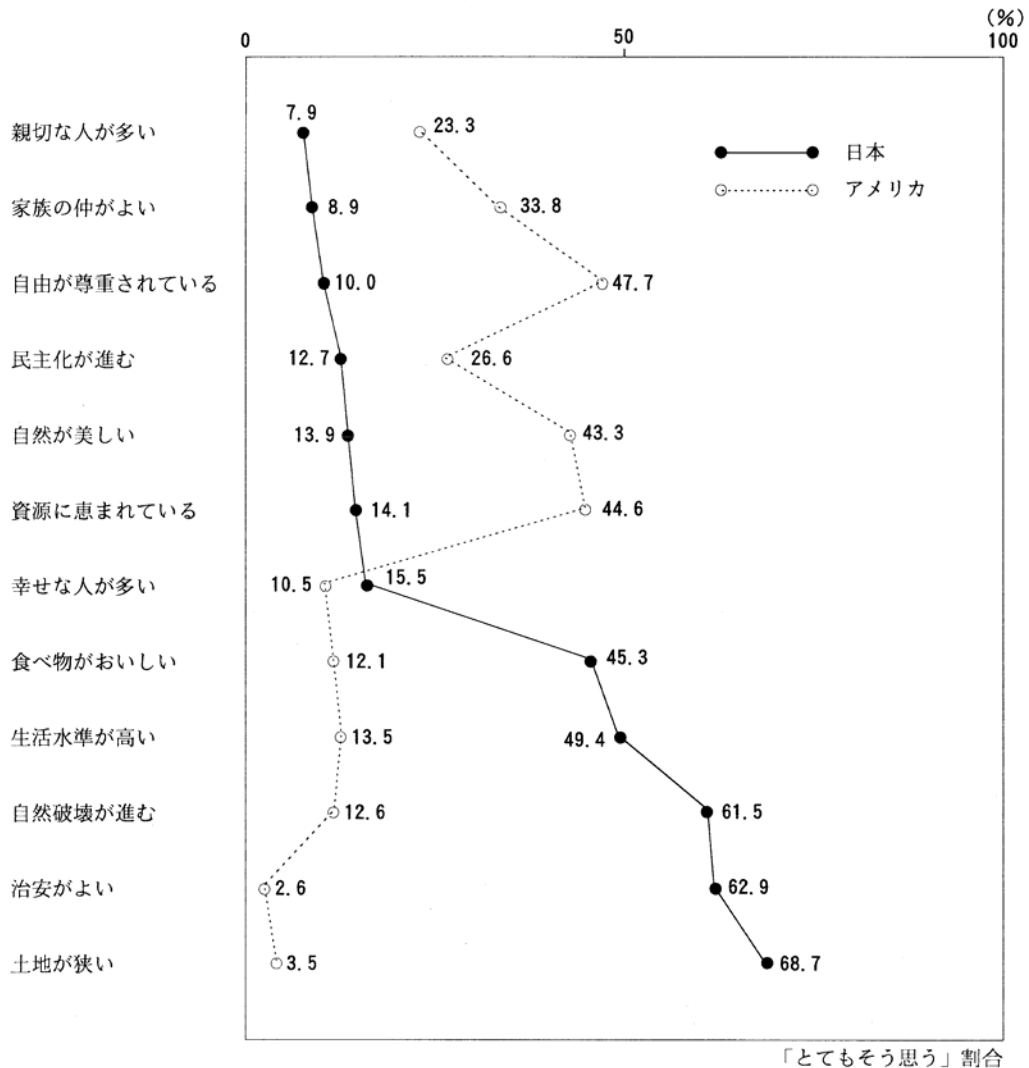


図8 日本のイメージ × 海外体験
—— 海外へ行くと日本を意識する ——

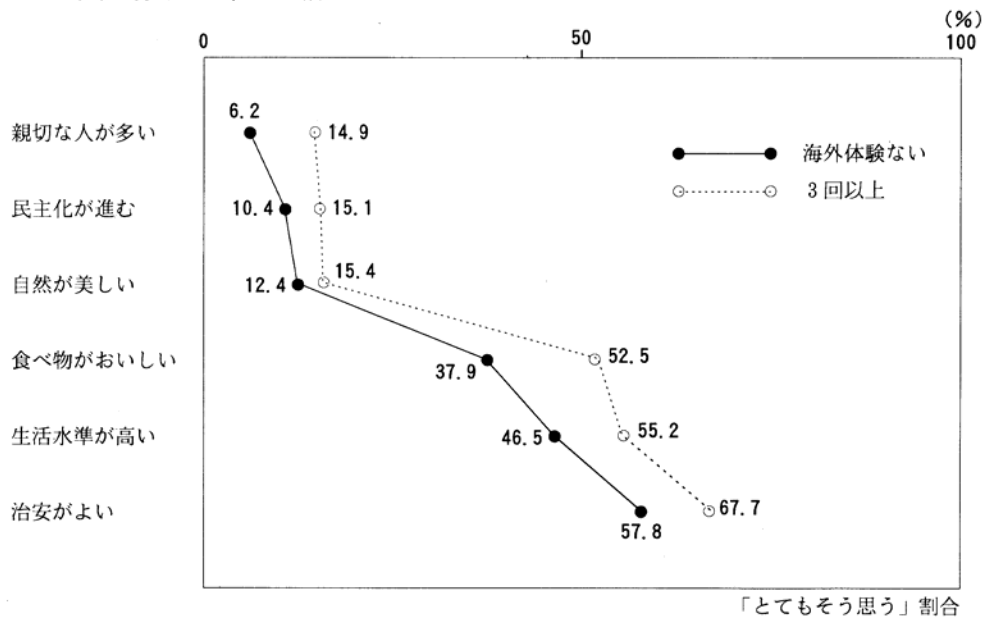


表22 日本のイメージ × 属性

	英語の成績			クラスのタイプ		海外体験			
	とても～ やや得意	やや 苦手	かなり～ とても苦手	普通科	外国語	ない	1回	2回	3回 以上
	親切な人が多い	5.1	6.7	6.9	8.0	7.5	6.2	8.5	8.2
家族の仲がよい	8.5	7.1	6.6	9.3	7.5	8.1	9.1	10.3	11.0
自由が尊重されている	8.8	10.5	6.1	9.9	9.3	10.4	9.0	10.3	11.0
民主化が進む	13.1	9.9	8.4	12.5	10.3	10.4	14.2	17.2	15.1
自然が美しい	11.5	13.4	15.5	13.7	13.4	12.4	14.7	17.6	15.4
資源に恵まれている	14.8	12.0	11.6	14.0	14.5	13.0	14.3	15.0	18.4
幸せな人が多い	15.8	14.6	11.8	15.5	16.5	15.0	15.5	14.1	20.4
食べ物がおいしい	48.4	44.9	43.3	42.9	57.1	37.9	51.6	55.1	52.5
生活水準が高い	52.5	49.6	43.4	48.0	53.4	46.5	51.1	53.8	55.2
自然破壊が進む	58.8	60.0	59.6	62.2	63.1	60.6	62.0	65.4	60.5
治安がよい	64.4	63.2	59.6	61.1	71.9	57.8	67.5	68.8	67.7
土地が狭い	69.6	67.7	63.8	68.1	76.5	63.8	73.4	73.1	74.6

「とてもそう思う」割合

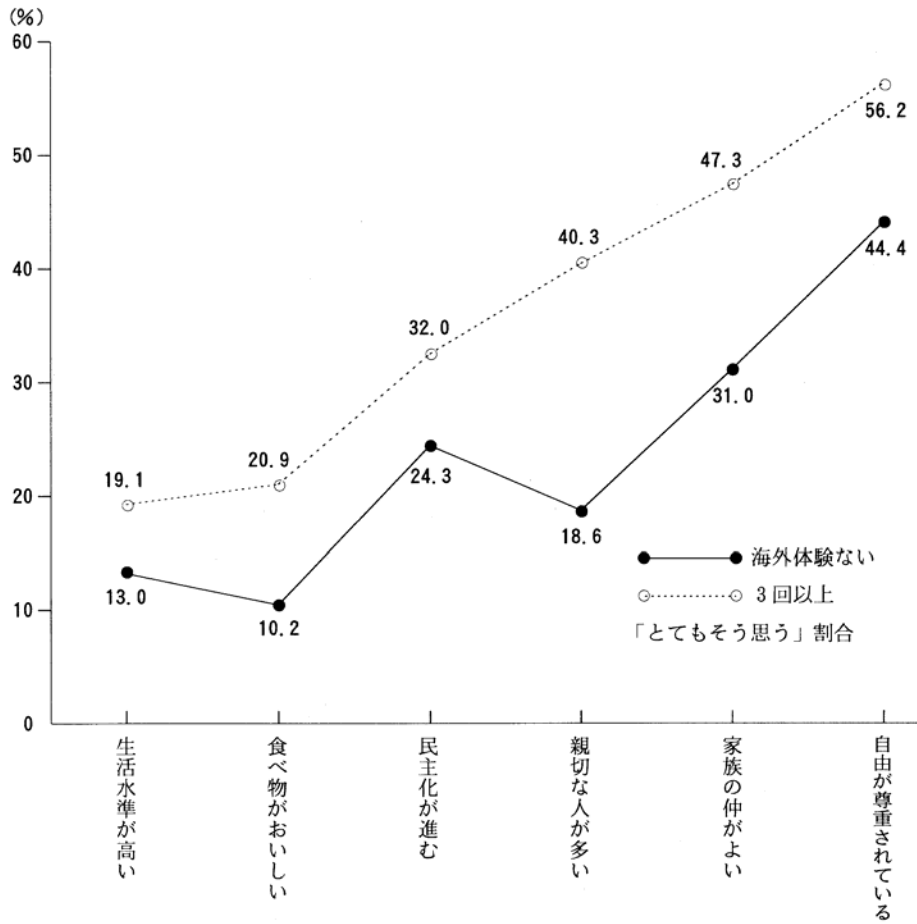
数が少ないので、日本人であることを意識することは少ない。しかし、海外で生活するようになると、日本人であることを自覚させられることが多い。人種が混ざっているので、

自分をしっかりさせておかないと、自分の存在自体があいまいになってしまうからである。

そうした体験を通して、日本を意識するようになり、日本のよさを認識するようになる

図9 アメリカのイメージ × 海外体験

——アメリカのイメージもよくなる——



のであろう。それならば、アメリカに対するイメージはどうなるのか。図9（表23）の通りに、海外体験の多い生徒の方がアメリカのよさを認めている。海外に出かける回数が増

えるにつれて、日本のよさがわかるようになると同時に、外国のよさも自覚していく。考えてみれば、「国際化」とは日本だけでなくよその国のよさを理解する。そういう態度の

表23 アメリカのイメージ × 属性

(%)

	英語の成績			クラスのタイプ		海外体験			
	とても～ やや得意	やや 苦手	かなり～ とても苦手	普通科	外国語	ない	1回	2回	3回 以上
親切な人が多い	23.3	20.6	17.7	23.4	21.4	18.6	24.1	30.3	40.3
家族の仲がよい	36.1	32.2	32.2	32.7	37.4	31.0	32.7	40.2	47.3
自由が尊重されている	49.4	48.1	43.4	46.0	52.4	44.4	48.0	56.0	56.2
民主化が進む	26.6	24.7	22.4	25.9	28.6	24.3	25.2	38.2	32.0
食べ物がおいしい	10.8	9.1	10.6	11.7	13.1	10.2	11.2	17.1	20.9
生活水準が高い	13.0	12.8	10.0	13.5	12.8	13.0	12.2	15.9	19.1

「とてもそう思う」割合

形成を意味するのかもしれない。

また、表24に示したように、高校生は日本にいる外国人について、「よい住宅をみつけにくい」「将来の見通しがたたない」などに

悩んでいると感じている。そして、特に海外体験の多い生徒は在日外国人の悩みをより多く感じているのは表25の通りである。

表24 在日外国人の悩み
——住まいをみつけにくい——

(%)

	悩んでいる			悩んでいない	
	とても	かなり	やや	あまり	まったく
日本の食事になじみにくい	8.7	17.1	41.1	27.3	5.8
自分の国の食事をとれない	12.9	15.8	31.8	29.8	9.7
友だちができてにくい	22.5	25.9	31.9	15.2	4.5
賃金が安すぎる	26.9	17.2	18.9	22.3	14.7
日本語をおぼえにくい	33.6	34.9	23.9	4.9	2.7
職場で一人前に扱ってくれない	36.8	29.7	21.0	8.7	3.8
将来の見通しがたたない	40.9	27.4	19.9	7.8	4.0
よい住宅をみつけにくい	51.3	30.6	12.7	3.2	2.2

表25 在日外国人の悩み × 属性

(%)

	英語の成績			クラスのタイプ		海外体験			
	とても～ やや得意	やや 苦手	かなり～ とても苦手	普通科	外国語	ない	1回	2回	3回 以上
友だちができてにくい	18.8	20.7	17.3	22.8	20.2	21.2	23.5	23.5	25.0
賃金が安すぎる	25.2	25.8	24.8	28.1	24.6	27.4	25.0	29.9	28.3
将来の見通しがたたない	35.7	39.6	40.9	40.9	42.9	39.9	40.4	46.6	42.2

「とても悩んでいる」割合

2. 自己評価との関連

このように国際感覚の観点でみると、「英語が得意」「外国語コースに在籍」「海外渡航体験が多い」などの属性を持つ生徒の方が国際性を持っているように見える。

それでは、そうした属性の持ち主は他の高校生と意識が異なっているのだろうか。表26は高校生の自己評価を示している。そして、表27から明らかなように、①英語が得意、②

表26 高校生の自己評価

(%)

	ちがう			そう		
	まったく	かなり	やや	やや	まあ	とても
友だちが多い	6.9	5.5	21.7	34.6	19.5	11.8
行動力がある	8.0	9.5	27.8	29.7	16.2	8.8
心がやさしい	9.2	7.0	22.7	32.9	13.2	15.0
友だちから信頼されている	9.9	7.9	25.8	36.4	12.3	7.7
友だちをひっぱる力がある	13.8	12.8	34.4	23.5	8.3	7.2
体力がある	15.9	13.2	22.8	20.7	15.0	12.4
流行のファッションをしている	16.1	13.1	29.2	28.4	8.7	4.5
運動神経がいい	17.4	13.8	23.7	22.9	12.6	9.6
先生から信頼されている	17.7	13.7	31.4	23.3	6.8	7.1
努力型	19.9	13.0	25.2	20.9	12.3	8.7
勉強がよくできる	19.4	21.0	30.7	18.6	4.6	5.7
異性から人気がある	26.6	22.0	32.2	11.1	2.6	5.5

外国語コース在籍、③海外体験が多い方が自己評価が明るい。そして、英語の成績と外国語コース、海外渡航体験の中では、図10のように海外渡航体験が生徒の自己像を高めてい

るのがわかる。

海外で暮らしていれば、さまざまな体験を重ねることになる。それだけに、海外の体験を積むうちに自分に対して自信がついてくる

表27 高校生の自己評価 × 属性

— 海外体験が多いと自己評価は明るい —

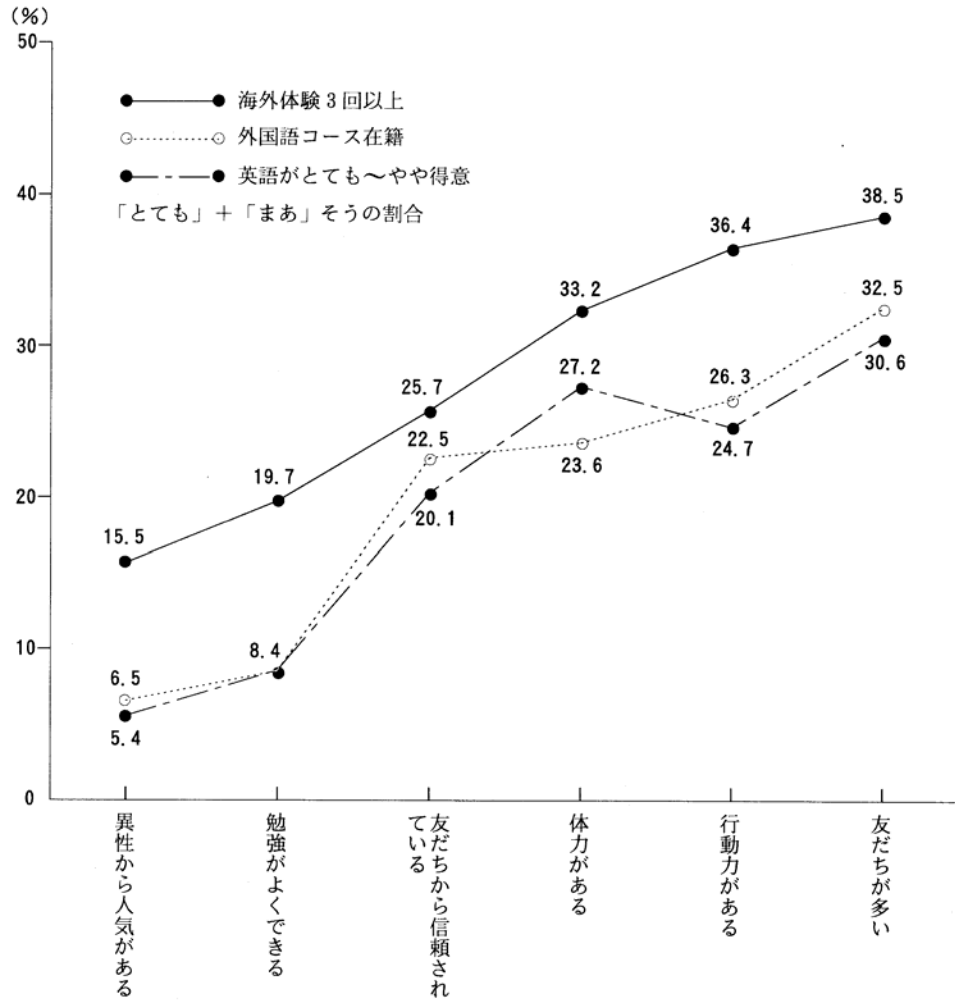
(%)

	英語の成績			クラスのタイプ		海外体験			
	とても～ やや得意	やや 苦手	かなり～ とても苦手	普通科	外国語	ない	1回	2回	3回 以上
友だちが多い	30.6	30.5	27.9	31.0	32.5	28.7	32.8	33.2	38.5
行動力がある	24.7	21.1	23.5	24.7	26.3	20.6	26.8	31.9	36.4
心がやさしい	26.7	25.2	25.2	28.1	28.8	25.1	29.7	31.9	35.7
友だちから信頼されている	20.1	18.5	15.4	19.7	22.5	16.6	22.2	25.0	25.7
友だちをひっぱる力がある	14.4	12.2	12.8	15.8	14.7	11.5	18.0	19.0	23.7
体力がある	27.2	28.1	24.5	26.9	23.6	27.7	24.5	29.9	33.2
流行のファッションをしている	12.1	11.8	10.8	13.2	15.5	10.8	14.0	15.6	21.6
運動神経がいい	21.7	21.4	19.5	22.4	21.1	21.6	21.6	22.4	30.2
先生から信頼されている	11.6	11.2	10.9	14.8	9.8	12.9	12.9	17.3	20.1
努力型	23.9	18.3	15.3	21.7	22.7	20.4	19.9	19.4	31.2
勉強がよくできる	8.4	6.2	6.3	10.6	8.4	7.9	10.3	16.2	19.7
異性から人気がある	5.4	6.2	6.6	8.6	6.5	6.6	12.0	9.1	15.5

「とても」+「まあ」その割合

図10 高校生の自己評価 × 属性

——海外体験は自信に連なる——



のであろうか。また、表28に精神的な不安定性についてのデータを示したが、表29から明らかのように、渡航体験を持っている生徒の方が不安定性を示していない。

このように、高校生たちは海外体験を重ね

ると、日本の見方だけでなく、外国に対しても好意的な見方ができるようになり、国際性が育っているのがわかる。また、外国語コースに在籍する生徒も海外体験ほど激しくはないが、生徒たちの国際的な見方により意味で

表28 精神的に不安定

	その通り		小 計
	まったく	かなり	
よそで眠れない	3.8	5.6	9.4
1人でいるのが好き	9.1	13.5	22.6
偏食ぎみ	9.7	7.6	17.3
疲れやすい	9.9	11.5	21.4
車に酔いやすい	10.0	11.3	21.3
知らない人と話すのが苦手	12.2	14.5	26.7
お米を食べないと元気がでない	18.6	14.4	33.0
人前で話すのが苦手	21.5	19.8	41.3

表29 精神的に不安定 × 属性

— 海外へ行くとたくましくなる —

	英語の成績			クラスのタイプ		海外体験			
	とても～ やや得意	やや 苦手	かなり～ とても苦手	普通科	外国語	ない	1回	2回	3回 以上
よそで眠れない	7.7	9.5	7.6	9.3	8.7	9.5	10.5	7.4	7.0
1人でいるのが好き	20.5	19.4	19.7	21.6	22.7	21.6	23.9	24.7	21.7
偏食ぎみ	14.3	16.6	15.6	17.5	13.8	16.3	19.8	15.9	16.5
疲れやすい	20.6	15.8	22.3	21.1	22.1	20.6	23.8	23.2	14.0
車に酔いやすい	18.9	18.7	24.2	20.9	22.3	21.1	23.1	20.2	17.0
知らない人と話すのが 苦手	23.2	23.1	30.4	37.1	24.2	28.1	27.0	23.6	21.7
お米を食べないと元気が でない	38.5	38.1	47.7	40.5	40.8	35.0	33.7	28.3	23.6
人前で話すのが苦手	30.3	34.5	31.2	33.6	31.6	44.0	39.4	38.7	35.4

「まったく」+「かなり」その通りの割合

の影響を与えていた。外国語コースに籍を置くうちに国際性が育ってくるのであろう。

最後に英語教育についての希望を表30に示した。歌やゲームをとり入れるよりも、外国人教師の英会話の授業や大学受験に役立つ授

業に期待が集まっている。そして表31によれば、①英語が得意、②外国語コースに在籍、③海外体験が多い生徒の方が、英語の授業に積極的に希望を託しているのがわかる。

表30 英語の授業への希望
—— 外人教師も賛成 ——

(%)

	望む			望まない	
	大いに	かなり	やや	あまり	まったく
歌やゲームをとり入れる	19.3	16.0	25.6	24.4	14.7
ビデオやカセットテープ利用	24.7	20.8	30.0	15.1	9.4
外国文化の紹介	24.8	18.8	27.7	18.5	10.2
英会話授業	32.5	20.2	28.0	12.2	7.1
大学受験に役立つ	34.2	24.9	25.7	9.5	5.7
外国人教師の授業	35.3	20.0	25.2	10.7	8.8
基礎からやり直す	38.5	25.6	23.4	8.2	4.3

表31 英語の授業への希望 × 属性
—— 英会話を望む声も多い ——

(%)

	英語の成績			クラスのタイプ		海外体験			
	とても～ やや得意	やや 苦手	かなり～ とても苦手	普通科	外国語	ない	1回	2回	3回 以上
歌やゲームをとり入れる	14.9	16.9	18.6	17.9	25.0	18.4	18.9	23.3	22.0
ビデオやカセットテープ利用	28.0	20.6	19.4	22.5	34.8	21.4	25.4	31.5	32.5
外国文化の紹介	27.9	19.1	20.5	22.6	36.9	20.4	25.4	35.8	35.0
英会話授業	40.7	27.8	20.3	30.2	42.4	27.2	33.2	46.1	45.5
大学受験に役立つ	38.7	32.4	23.7	34.9	35.1	28.5	38.4	39.7	46.0
外国人教師の授業	43.0	30.4	26.8	34.3	44.5	29.6	35.9	49.6	50.0
基礎からやり直す	30.9	36.8	39.2	38.0	39.3	37.4	37.4	46.1	39.5

「大いに望む」割合

第 5 章

まとめに代えて

国際性を育てるとは

調査にあたって、高校生の国際感覚は今も昔とあまり変わらないのではと思っていた。音楽やスポーツなどの面で外国に関心があるにせよ、その他のことは関心を持たず、視野はそれほど広がっていないのではと仮定していたのである。

データで明らかにしたように、この調査を通じて印象深かったのは、①英語が得意、②外国語コースに在籍、③海外渡航体験が多いなどの属性を持つ高校生の国際感覚が高いという事実だった。中でも、③海外体験は大きな意味を持ち、海外に行った経験の多い生徒は国際的な感覚を持っているだけでなく、国際性が豊かだった。

国際性のような感覚は海外に行く機会があり、文化的なショックを受けたりすると育ちやすい。逆に日本の日常生活に埋没していると国際的な感覚は育ちにくいかもしれない。

といっても、高校生が海外に行くことはそれほど容易ではない。しかし、外国語コースに在籍する生徒は国際的な感覚を持ち始めている。学校での教育を通して、国際的な感覚が芽生えたのであろう。そうした意味では、外国語コースは所期の目的を達成しているように思われる。これから先、日本の国際化が進んでくると思われるだけに、普通の高校でも英語の教育などに工夫を凝らし、生徒を刺激して国際性を育ててほしいと思った。

単位：パーセント

アンケートのお願い

このアンケートは、高校生のみなさんの外国への関心をたずねるために作成したものです。テストではありませんので、あなたが思った通りの気持ちで、ご自由にお書きください。

高校教育研究会
静岡大学教授 深谷昌志
静岡大学教育学部
〒422 静岡市大谷836
TEL.054-237-1111(代) 内線4981

学校名 () 高等学校

学 年 () 年生

性 別 (1. 男子 2. 女子) <○をつけてください>
53.6 46.4

あなたのクラス (1. 普通科 2. 外国語コース(英語科) 3. その他)
74.6 14.4 11.0

<回答のしかた> 特にことわりのない場合は、あてはまる数字に1つだけ○をつけてください。

I. まず、外国についての関心をおたずねします。

① ①～⑤の国の首都はどこですか。1～4の中から選んでください。

- | | | | | | | |
|--------------|---|------------------|-----------------|------------|-----------|---|
| ① アメリカ…………… | (| 1. ボストン 0.7 | 2. ワシントンDC 92.1 |) | | |
| | | 3. ニューヨーク 6.4 | 4. サンフランシスコ 0.8 | | | |
| ② 中 国…………… | (| 1. 台北 0.6 | 2. 上海 2.9 | 3. 北京 95.1 | 4. 香港 1.4 |) |
| ③ フランス…………… | (| 1. ジュネーブ 3.9 | 2. ローマ 1.7 |) | | |
| | | 3. ロンドン 4.9 | 4. パリ 89.5 | | | |
| ④ 韓 国…………… | (| 1. ソウル 96.8 | 2. ハルビン 0.9 |) | | |
| | | 3. マニラ 1.6 | 4. テジョン 0.7 | | | |
| ⑤ ニューージーランド… | (| 1. クライストチャーチ 8.6 | 2. メルボルン 33.7 |) | | |
| | | 3. オークランド 22.8 | 4. ウェリントン 34.9 | | | |

② 成田空港から次の都市へ行くのに、飛行機で何時間くらいで行けるとおもいますか。

	平均値
① ロンドン…………… () 時間くらい	11時間23分
② ソウル…………… () 時間くらい	2時間25分
③ ニューヨーク…… () 時間くらい	11時間49分
④ 北 京…………… () 時間くらい	3時間34分
⑤ ニューデリー…… () 時間くらい	7時間8分
⑥ ハワイ…………… () 時間くらい	6時間41分

③ あなたは、次のような出来事にどれくらい関心がありましたか(あるいは、ありますか)。

	とても 関心がある	かなり 関心がある	やや 関心がある	あまり 関心がない	まったく 関心がない
① 湾岸戦争……………	14.0	18.2	40.1	19.1	8.6
② カンボジアPKOへの自衛隊参加……	10.4	16.1	36.7	24.7	12.1
③ ロシアの政治不安……………	9.7	12.6	29.4	31.5	16.8

	とても 関心がある	かなり 関心がある	やや 関心がある	あまり 関心がない	まったく 関心がない
④ ECの統合	7.9	8.3	23.1	41.1	19.6
⑤ 従軍慰安婦問題	7.7	8.9	26.3	34.1	23.0
⑥ コメの自由化	26.8	24.4	29.8	11.6	7.4
⑦ アメリカの銃規制	25.3	23.1	28.3	13.9	9.4

④ あなたは、1～10のような外国語を話せるようになりたいですか。話せるようになりたい言葉に○をつけてください。(○はいくつつけてもかまいません)

1. 英語	92.3	6. スウェーデン語	10.6
2. ドイツ語	43.8	7. フランス語	61.4
3. 中国語	33.4	8. スペイン語	24.9
4. 韓国・朝鮮語(ハングル)	11.1	9. アラビア語	12.1
5. ロシア語	18.1	10. その他 ()	14.3

⑤ あなたは外国の人と、次のようなことをどれくらいしたことがありますか。

	1度もない	1、2度ある	何回かある	数えきれない くらいある
① 握手をする	21.4	31.7	32.7	14.2
② あいさつをする	7.1	24.9	39.8	28.2
③ 買い物を手伝う	77.5	10.1	7.7	4.7
④ 道を案内する	49.2	33.9	13.3	3.6
⑤ 町を歩く	62.1	14.8	12.5	10.6
⑥ 食事をする	55.3	18.7	13.7	12.3
⑦ 旅をする	84.8	8.6	3.6	3.0

⑥ あなたは、次のようなことをどれくらいしていますか。

	とても する	かなり する	やや する	あまり しない	まったく しない
① テレビで海外のニュースを見る…	11.1	15.1	40.1	23.4	10.3
② 新聞などで海外のニュースを 読む…	7.6	9.6	32.8	33.1	16.9
③ 雑誌などで海外の事情を読む…	7.1	8.1	31.0	36.5	17.3
④ 外国の映画を見に行く…	24.8	24.4	28.4	13.9	8.5
⑤ 外国のアーティストのCDなどを 聞く…	27.7	18.0	28.6	16.9	8.8
⑥ 海外から来るアーティストのコン サートへ行く…	5.9	2.5	8.5	21.4	61.7
⑦ FENなどのラジオで英語のニ ュースを聞く…	3.3	2.5	7.4	17.8	69.0
⑧ 衛星放送の英語のニュースを聞く…	3.7	3.4	10.6	13.5	68.8

⑦ あなたは将来、①～⑩のようなことができるようになりたいですか。

	ぜひ なりたい	かなり なりたい	あまり なりたくない	まったく なりたくない
① 外国の人と簡単なあいさつがで きる…	75.2	17.8	4.2	2.8
② 外国のスーパーなどで買い物が できる…	67.2	20.9	8.4	3.5
③ 外国人に簡単な道案内ができる…	67.7	22.7	6.4	3.2
④ 外国のレストランで食事の注文 ができる…	69.9	22.1	5.2	2.8
⑤ 外国の店でジーンズなどの注文 ができる…	62.8	23.1	10.0	4.1
⑥ 外国の人とあまり不自由なく会 話ができる…	76.7	17.2	3.3	2.8
⑦ 外国の新聞を読める…	61.6	23.7	10.8	3.9
⑧ 外国のテレビを理解できる…	68.4	21.9	6.5	3.2
⑨ 外国の本をすらすら読める…	66.7	21.9	7.9	3.5
⑩ 外国の人と議論ができる…	54.9	21.9	16.7	6.5

⑧ それでは、あなたががんばったら、実際に①～⑩のようなことができるようになりますか。

	きっと できる	たぶん できる	たぶん できない	まったく できない
① 外国の人と簡単なあいさつができる……	65.4	27.7	5.1	1.8
② 外国のスーパーなどで買い物ができる……	54.9	33.1	9.3	2.7
③ 外国人に簡単な道案内ができる……	50.0	34.4	12.2	3.4
④ 外国のレストランで食事の注文ができる……	46.9	37.9	11.8	3.4
⑤ 外国の店でジーンズなどの注文ができる……	40.3	36.7	18.2	4.8
⑥ 外国の人とあまり不自由なく会話ができる……	29.7	33.0	28.7	8.6
⑦ 外国の新聞を読める……	28.0	34.8	27.2	10.0
⑧ 外国のテレビを理解できる……	26.6	32.7	30.0	10.7
⑨ 外国の本をすらすら読める……	25.3	28.6	32.3	13.8
⑩ 外国の人と議論ができる……	20.6	22.1	34.1	23.2

Ⅱ. それでは、海外についてのあなたの気持ちをおたずねします。

⑨ あなたは、これから次のような形で海外へ行きたいと思いませんか。

	ぜひ したい	かなり したい	やや したい	あまり したくない	まったく したくない
① 高校時代に短期間海外に観光に行く……	40.2	13.4	20.5	14.4	11.5
② 高校時代に3～4週間のホームステイをする……	24.4	10.4	21.7	25.0	18.5
③ 高校時代に1年間の海外留学をする……	17.5	8.0	19.3	29.4	25.8
④ 大学時代に海外に観光に行く……	61.7	15.5	13.0	4.5	5.3
⑤ 外国の大学の日本校に入学する……	8.2	4.3	14.5	31.8	41.2

● 資料 調査票見本および集計結果

	ぜひ したい	かなり したい	やや したい	あまり したくない	まったく したくない
⑥ 大学時代に1か月くらいのホームステイをする……………	30.7	12.8	21.2	19.8	15.5
⑦ 外国の大学に1年間くらい在学する……………	27.6	9.6	19.9	23.4	19.5
⑧ 外国の大学へ進学する……………	12.3	5.5	17.3	32.1	32.8
⑨ 大学進学後、外国の大学や大学院へ行く……………	11.9	4.9	15.4	34.2	33.6
⑩ 仕事の関係で外国に短期間出張する……………	28.3	14.4	24.8	18.4	14.1
⑪ 旅行関係の会社に就職する……………	13.2	8.7	23.9	26.5	27.7
⑫ 海外支店のある会社に就職する……………	19.8	10.8	27.1	23.4	18.9
⑬ 外資系の会社に就職する……………	13.0	8.1	21.5	32.2	25.2
⑭ 仕事の関係で外国で1年以上暮らす……………	26.8	10.9	20.6	22.6	19.1
⑮ 勤めてから独身時代に海外へ遊びに行く……………	54.2	15.9	15.7	6.9	7.3
⑯ 新婚旅行で海外へ行く……………	56.4	12.8	16.2	7.3	7.3
⑰ 子どもができてから家族で海外へ旅行する……………	49.9	14.4	17.7	10.1	7.9
⑱ 外国のどこかに別荘をつくる……………	33.9	10.4	20.7	18.5	16.5
⑲ 年をとってから外国で暮らす……………	24.5	8.8	17.4	24.5	24.8
⑳ 外国人と結婚する……………	11.1	5.4	16.4	30.2	36.9
㉑ 外国の市民権を獲得する……………	11.6	6.1	14.3	28.3	39.7

⑩ それでは、実際にそうしたことはできると思えますか。

	きっと できる	たぶん できる	もしかしたら できる	たぶん できない	ぜったい できない
① 高校時代に短期間海外に観光に行く……………	23.9	7.7	13.3	26.2	28.9
② 高校時代に3～4週間のホームステイをする……………	13.1	4.4	10.0	29.5	43.0
③ 大学時代に海外に観光に行く……………	36.1	20.9	24.2	9.2	9.6

	きつと できる	たぶん できる	もしかしたら できる	たぶん できない	ぜったい できない
④ 大学時代に1か月くらいのホームステイをする……………	19.4	11.0	22.9	27.5	19.2
⑤ 外国の大学に1年間くらい在学する……………	12.3	6.8	16.6	32.5	31.8
⑥ 外国の大学を卒業する……………	7.3	3.3	12.3	27.8	49.3
⑦ 仕事の関係で外国に短期間出張する……………	14.4	10.6	31.7	24.5	18.8
⑧ 仕事の関係で外国で1年以上暮らす……………	12.6	7.5	27.8	28.6	23.5
⑨ 勤めてから独身時代に海外へ遊びに行く……………	39.0	22.2	22.0	8.6	8.2
⑩ 新婚旅行で海外へ行く……………	41.5	23.4	22.0	6.2	6.9
⑪ 子どもができてから家族で海外へ旅行する……………	32.5	21.4	27.4	10.0	8.7
⑫ 外国のどこかに別荘をつくる……………	11.5	4.5	15.6	30.6	37.8
⑬ 年をとってから外国で暮らす……………	11.0	6.0	18.3	26.5	38.2

Ⅲ. いろいろな人たちについての気持ちをおたずねします。

⑪ あなたは他の国と比べて、日本をどう思っていますか。

	とても そう思う	かなり そう思う	あまり そう思わない	まったく そう思わない
① 資源に恵まれている……………	14.1	11.9	33.9	40.1
② 自然が美しい……………	13.9	29.8	44.8	11.5
③ 親切な人が多い……………	7.9	24.9	51.1	16.1
④ 食べ物がおいしい……………	45.3	39.7	12.0	3.0
⑤ 生活水準が高い……………	49.4	35.6	12.2	2.8
⑥ 治安がよい……………	62.9	26.4	8.1	2.6
⑦ 土地が狭い……………	68.7	20.3	8.6	2.4
⑧ 幸せな人が多い……………	15.5	29.3	44.2	11.0

● 資料 調査票見本および集計結果

	とても そう思う	かなり そう思う	あまり そう思わない	まったく そう思わない
⑨ 家族の仲がよい……………	8.9	30.5	51.5	9.1
⑩ 民主化が進んでいる……………	12.7	40.7	38.6	8.0
⑪ 自然が破壊されている……………	61.5	31.8	5.3	1.4
⑫ 自由が尊重されている……………	10.0	29.3	45.5	15.2

12 あなたはアメリカをどんな国だと思っていますか。

	とても そう思う	かなり そう思う	あまり そう思わない	まったく そう思わない
① 資源に恵まれている……………	44.6	44.0	10.2	1.2
② 自然が美しい……………	43.3	41.8	13.0	1.9
③ 親切な人が多い……………	23.3	43.2	29.5	4.0
④ 食べ物おいしい……………	12.1	27.9	48.2	11.8
⑤ 生活水準が高い……………	13.5	43.3	38.8	4.4
⑥ 治安がよい……………	2.6	5.4	38.0	54.0
⑦ 土地が狭い……………	3.5	3.2	16.0	77.3
⑧ 幸せな人が多い……………	10.5	36.7	45.9	6.9
⑨ 家族の仲がよい……………	33.8	43.3	19.3	3.6
⑩ 民主化が進んでいる……………	26.6	49.6	20.9	2.9
⑪ 自然が破壊されている……………	12.6	31.6	49.2	6.6
⑫ 自由が尊重されている……………	47.7	38.7	10.8	2.8

13 現在、たくさんの外国人が日本に働きに来ています。その人たちは次のようなことに悩んでいると思いますか。

	とても 悩んでいる	かなり 悩んでいる	やや 悩んでいる	あまり 悩んでいない	まったく 悩んでいない
① 日本の食事になじみにくい……………	8.7	17.1	41.1	27.3	5.8
② よい住宅をみつけにくい……………	51.3	30.6	12.7	3.2	2.2
③ 日本語をおぼえにくい……………	33.6	34.9	23.9	4.9	2.7

	とても 悩んでいる	かなり 悩んでいる	やや 悩んでいる	あまり 悩んでいない	まったく 悩んでいない
④ 友だちができにくい……………	22.5	25.9	31.9	15.2	4.5
⑤ 自分の国の食事をとれない……………	12.9	15.8	31.8	29.8	9.7
⑥ 賃金が安すぎる……………	26.9	17.2	18.9	22.3	14.7
⑦ 職場で一人前に扱ってくれない…	36.8	29.7	21.0	8.7	3.8
⑧ 将来の見通しがたたない……………	40.9	27.4	19.9	7.8	4.0

IV. あなたのことをおたずねします。

⑭ あなたやあなたのご家族は外国へ行ったことがありますか。

	1度もない	1回	2～3回	5～6回	何回も
① 家族の人（あなたを含めない） が海外へ観光に行った……………	38.9	19.6	22.5	6.6	12.4
② あなたがキャンプやホームステ イなどで短期間海外へ行った……	69.2	23.0	6.0	0.4	1.4
③ 家族の人と海外へ旅行に行った…	80.9	7.9	5.8	1.9	3.5
④ お父さんは仕事などで海外へ行 った……………	59.9	10.2	11.9	4.1	13.9
⑤ お父さんの仕事の関係などで長 期間海外で暮らした……………	92.7	3.9	1.3	0.1	2.0

⑮ (海外へ行ったことのある人におたずねします)

あなたが行った都市や地域に○をつけてください。(○はいくつあってもかまいません)

1. ハワイ	7.9	6. 韓国	2.8
2. グアム・サイパン	5.1	7. 中国や台湾	11.1
3. アメリカ西海岸	12.6	8. 6～7以外のアジア	5.1
4. アメリカ東海岸	21.4	9. ヨーロッパ	6.0
5. オーストラリアやニュ ージーランド、カナダ	7.8	10. その他 ()	5.2

16 次の①～⑧のようなことは、あなたにどれくらいあてはまりますか。

	まったく その通り	かなり その通り	やや その通り	あまり そうでない	まったく そうでない
① 車に乗ると酔いやすい……………	10.0	11.3	22.2	27.1	29.4
② 食べ物の好き嫌いがはげしい……	9.7	7.6	15.5	40.0	27.2
③ よそへ行くと眠れない……………	3.8	5.6	11.1	33.5	46.0
④ 知らない人と話すのが苦手…………	12.2	14.5	28.9	28.0	16.4
⑤ 友だちより疲れやすい……………	9.9	11.5	24.4	36.5	17.7
⑥ 1人であるのが好き……………	9.1	13.5	28.3	35.3	13.8
⑦ お米を食べないと元気がでない…	18.6	14.4	20.5	29.9	16.6
⑧ たくさんの人の前で話すのが苦 手……………	21.5	19.8	27.6	21.7	9.4

17 あなたは将来、どんな進路へ進むつもりですか。(○を1つつけてください)

1. 高校までで就職したい	3.4	4. まあまあの4年制大学へ行くつもり	54.9
2. 短期大学へ行くつもり	8.4	5. むずかしい4年制大学へ行くつもり	28.1
3. 専修・専門学校へ行くつもり	5.2		

18 あなたは、英語の勉強が得意ですか。

	とても 得意	かなり 得意	やや 得意	やや 苦手	かなり 苦手	とても 苦手
① 中学2年生の頃……………	23.5	17.5	26.2	15.6	6.4	10.8
② 現在……………	4.5	6.4	26.4	28.7	15.9	18.1

19 それでは英語の授業に、あなたは次のようなことはどの程度望みますか。

	大いに 望む	かなり 望む	やや 望む	あまり 望まない	まったく 望まない
① 英語を話したり聞いたりする (英会話)授業……………	32.5	20.2	28.0	12.2	7.1
② わからないところを基礎、基本 からやり直してくれる授業…………	38.5	25.6	23.4	8.2	4.3

	大いに 望む	かなり 望む	やや 望む	あまり 望まない	まったく 望まない
③ 大学受験に直接役に立つような 授業……………	34.2	24.9	25.7	9.5	5.7
④ 歌やゲーム、パズルなどを取り 入れた授業……………	19.3	16.0	25.6	24.4	14.7
⑤ ビデオやカセットテープなどの 視聴覚機器を使った授業……………	24.7	20.8	30.0	15.1	9.4
⑥ 外国の文化・習慣や地理・歴史 などを紹介する授業……………	24.8	18.8	27.7	18.5	10.2
⑦ 外国人教師による授業……………	35.3	20.0	25.2	10.7	8.8

20 あなたは高校生としては、自分をどんなタイプだと思っていますか。

	まったく ちがう	かなり ちがう	やや ちがう	やや そう	まあ そう	とても そう
① 行動力がある……………	8.0	9.5	27.8	29.7	16.2	8.8
② 流行のファッションをしている…	16.1	13.1	29.2	28.4	8.7	4.5
③ 勉強がよくできる……………	19.4	21.0	30.7	18.6	4.6	5.7
④ 異性から人気がある……………	26.6	22.0	32.2	11.1	2.6	5.5
⑤ 友だちが多い……………	6.9	5.5	21.7	34.6	19.5	11.8
⑥ 努力型……………	19.9	13.0	25.2	20.9	12.3	8.7
⑦ 心がやさしい……………	9.2	7.0	22.7	32.9	13.2	15.0
⑧ 友だちから信頼されている……	9.9	7.9	25.8	36.4	12.3	7.7
⑨ 運動神経がいい……………	17.4	13.8	23.7	22.9	12.6	9.6
⑩ 友だちをひっぱる力がある……	13.8	12.8	34.4	23.5	8.3	7.2
⑪ 先生から信頼されている……	17.7	13.7	31.4	23.3	6.8	7.1
⑫ 体力がある……………	15.9	13.2	22.8	20.7	15.0	12.4

(以上で終わりです。長い間ありがとうございました。)